



## 次のステップ

---

この章は、次の項で構成されています。

- [Cisco Prime Network Registrar の設定](#) (1 ページ)
- [Cisco Prime Network Registrar の起動](#) (2 ページ)
- [サーバの起動と停止](#) (3 ページ)
- [サーバのイベントロギング](#) (6 ページ)
- [Windows インストールでの ACL の変更](#) (6 ページ)

## Cisco Prime Network Registrar の設定

Cisco Prime Network Registrar のインストール後、次のタスクを実行できます。

- Cisco Prime Network Registrar の概要：[『Cisco Prime Network Registrar 10.1 クイックスタートガイド \(Cisco Prime Network Registrar 10.1 Quick Start Guide\)』](#)を参照してください。
- DHCP アドレス、DHCP フェールオーバー、および DNS 更新のセットアップ：[『Cisco Prime Network Registrar 10.1 DHCP ユーザガイド \(Cisco Prime Network Registrar 10.1 DHCP User Guide\)』](#)を参照してください。
- 権威 DNS サービスとキャッシング DNS サービスのセットアップ：[『Cisco Prime Network Registrar 10.1 キャッシュおよび権威 DNS ユーザガイド \(Cisco Prime Network Registrar 10.1 Caching and Authoritative DNS User Guide\)』](#)を参照してください。
- ローカルとリージョナルの管理、Cisco Prime Network Registrar 仮想アプライアンスのセットアップなどの管理タスクを実行します。[『Cisco Prime Network Registrar 10.1 アドミニストレーションガイド \(Cisco Prime Network Registrar 10.1 Administration Guide\)』](#)を参照してください。
- CLI による Cisco Prime Network Registrar の設定と管理：[『Cisco Prime Network Registrar 10.1 CLI リファレンスガイド \(Cisco Prime Network Registrar 10.1 CLI Reference Guide\)』](#)を参照してください。
- REST API による Cisco Prime Network Registrar の設定と管理：[『Cisco Prime Network Registrar 10.1 REST APIs リファレンスガイド \(Cisco Prime Network Registrar 10.1 REST APIs Reference Guide\)』](#)を参照してください。

# Cisco Prime Network Registrar の起動

インストールしたローカルクラスタとリージョナルクラスタを管理するには、適切なライセンスファイル（Web UI）またはファイル名（CLI）を入力する必要があります。

Web UI または CLI でライセンス情報を入力するには、次の手順を実行します。

**ステップ 1** Cisco Prime Network Registrar の Web UI または CLI を起動します。

- Web UI にアクセスするには、Web ブラウザを開き、HTTP（非セキュアログイン）または HTTPS（セキュアログイン）の Web サイトを使用します。

```
http://hostname:http-port
```

```
https://hostname:https-port
```

値は、次のとおりです。

- *hostname* はターゲットホストの実際の名前です。
- *http-port* および *https-port* は、インストール時に指定されるデフォルトの HTTP または HTTPS ポートです。（[Cisco Prime Network Registrar のインストールおよびアップグレード](#)を参照）。

Windows では、ローカルホストの [スタート (Start)] メニューから Web UI にアクセスできます。

- ローカルクラスタの場合 : [スタート (Start)] > [プログラム (Programs)] > [Network Registrar IP Express 10.1] > [Network Registrar IP Express 10.1 ローカル Web UI (Network Registrar IP Express 10.1 local Web UI)] (またはセキュリティログインを有効にした場合は [Network Registrar IP Express 10.1 ローカル Web UI (セキュア) (Network Registrar IP Express 10.1 local Web UI (secure))] を選択します。
- リージョナルクラスタの場合 : [スタート (Start)] > [プログラム (Programs)] > [Network Registrar IP Express 10.1] > [Network Registrar IP Express 10.1 リージョナル Web UI (Network Registrar IP Express 10.1 regional Web UI)] (またはセキュリティログインを有効にした場合は [Network Registrar IP Express 10.1 リージョナル Web UI (セキュア) (Network Registrar IP Express 10.1 regional Web UI (secure))] を選択します。
- CLI を起動するには、次の手順を実行します。

- Windows : *install-path*\bin ディレクトリに移動し、次のコマンドを入力します。

```
nrcmd -C cluster-ipaddress -N username -P password
```

- Linux : Navigate to the *install-path*\usrbin ディレクトリに移動し、次のコマンドを入力します。

```
install-path/usrbin/nrcmd -C clustername -N username -P password
```

**ステップ 2** インストール手順中にライセンス情報を入力しなかった場合は、ここで入力する必要があります。

(注) リージョナルクラスタにライセンスを追加する必要があります。つまり、リージョナルを最初にインストールする必要があります。ローカルクラスタは、インストール時または最初のログイン時にリージョナルクラスタに登録する必要があります。リージョナルクラスタに追加されたライセンスに基づいて、ローカルのサービス (dhcp、dns、cdns) を選択できます。

- Web UI : [参照 (Browse) ] をクリックし、ライセンスファイルを探します。
- CLI : 次のように、ライセンスファイル名の絶対パスまたは相対パスを入力します。

```
nrcmd> license create filename
```

**ステップ3** インストール手順中に作成したユーザ名とパスワードを入力します。

## サーバの起動と停止

Windows では、Windows の [コントロールパネル (Control Panel) ] の [サービス (Services) ] 機能から Cisco Prime Network Registrar サーバエージェントを停止および起動できます。インストールが正常に完了し、サーバを有効にした場合は、マシンを再起動するたびに Cisco Prime Network Registrar の DNS サーバおよび DHCP サーバが自動的に起動します。

TFTP サーバの場合、次の Cisco Prime Network Registrar CLI コマンドを使用して、ブートアップ時に再起動できるようにする必要があります。

```
nrcmd> tftp enable start-on-reboot
```

クラスタ内のすべてのサーバは、Cisco Prime Network Registrar のリージョナルサーバエージェントまたはローカルサーバエージェントによって制御されます。サーバを停止または起動するには、サーバエージェントを停止または起動します。

サーバの停止と起動の詳細については、『Cisco Prime Network Registrar 10.1 アドミニストレーションガイド』を参照してください。

## Windows でのサーバの起動と停止

Windows でサーバを起動および停止するには、次の手順を実行します。

- ステップ1** [スタート (Start) ]>[設定 (Settings) ]>[コントロールパネル (Control Panel) ]>[管理ツール (Administrative Tools) ]>[サービス (Services) ] の順に選択します。
- ステップ2** [サービス (Service) ] リストから、[Network Registrar IP Express ローカルサーバエージェント (Network Registrar IP Express Local Server Agent) ] または [Network Registrar IP Express リージョナルサーバエージェント (Network Registrar IP Express Regional Server Agent) ] を選択します。
- ステップ3** 必要に応じて [再起動 (Restart) ] または [停止 (Stop) ] をクリックし、次に [閉じる (Close) ] をクリックします。

## Linux でのサーバーの起動と停止

Linux では、インストールまたはアップグレードが成功すると、Cisco Prime Network Registrar サーバが自動的に起動します。システムを再起動する必要はありません。



(注) **nradmin** として実行しているときに Cisco Prime Network Registrar を起動および停止するには、**nradmin** グループ（またはルート）のユーザとしてサーバにログインする必要があります。**nradmin** としてログインすることはできません。

```
# /opt/nwreg2/local/bin/cnr_service start  
# /opt/nwreg2/local/bin/cnr_service stop
```

Linux でサーバを起動および停止するには、次の手順を実行します。

**ステップ 1** SuperUser としてログインします。

**ステップ 2** *start* 引数を指定して **nwreglocal** スクリプトまたは **nwregregion** スクリプトを実行し、サーバエージェントを起動します。

RHEL/CentOS 6.x ローカルクラスタの場合：

```
# /etc/init.d/nwreglocal start
```

RHEL/CentOS 7.x ローカルクラスタの場合：

```
# systemctl start nwreglocal
```

RHEL/CentOS 6.x リージョナルクラスタの場合：

```
# /etc/init.d/nwregregion start
```

RHEL/CentOS 7.x リージョナルクラスタの場合：

```
# systemctl start nwregregion
```

**ステップ 3** **cnr\_status** コマンドを入力して、サーバが実行されていることを確認します。

```
# install-path/usrbin/cnr_status
```

**ステップ 4** *stop* 引数を指定して **nwreglocal** スクリプトまたは **nwregregion** スクリプトを実行し、サーバエージェントを停止します。

RHEL/CentOS 6.x ローカルクラスタの場合：

```
# /etc/init.d/nwreglocal stop
```

RHEL/CentOS 7.x ローカルクラスタの場合：

```
# systemctl stop nwreglocal
```

RHEL/CentOS 6.x リージョナルクラスタの場合：

```
# /etc/init.d/nwregregion stop
```

RHEL/CentOS 7.x リージョナルクラスタの場合：

```
# systemctl stop nwregregion
```

---

## ローカル Web UI を使用したサーバの起動または停止

ローカル Web UI でサーバを起動または停止するには、次の手順を実行します。

- 
- ステップ 1** [操作 (Operate) ]メニューから、[サーバ (Servers) ]サブメニューの[サーバの管理 (Manage Servers) ]を選択して、[サーバの管理 (Manage Servers) ]ページを開きます。
- ステップ 2** DHCP サーバ、DNS サーバ、CDNS サーバ、TFTP サーバ、BYOD サーバまたは SNMP サーバを起動または停止するには、[サーバの管理 (Manage Servers) ]ペインでサーバを選択し、次のいずれかを実行します。
- [サーバの起動 (Start Server) ] ボタンをクリックして、サーバを起動します。
  - [サーバの停止 (Stop Server) ] ボタンをクリックして、サーバを停止します。
- ステップ 3** サーバをリロードするには、[サーバの再起動 (Restart Server) ] ボタンをクリックします。

---

## リージョナル Web UI を使用したサーバの起動と停止

リージョナル Web UI でサーバを起動または停止するには、次の手順を実行します。

- 
- ステップ 1** [操作 (Operate) ]メニューから、[サーバ (Servers) ]サブメニューの[サーバの管理 (Manage Servers) ]を選択して、[サーバの管理 (Manage Servers) ]ページを開きます。
- ステップ 2** BYOD サーバまたは SNMP サーバを起動または停止するには、[サーバの管理 (Manage Servers) ]ペインでサーバを選択し、次のいずれかを実行します。
- [サーバの起動 (Start Server) ] ボタンをクリックして、サーバを起動します。
  - [サーバの停止 (Stop Server) ] ボタンをクリックして、サーバを停止します。
- (注) リージョンクラスタの BYOD Web サーバはデフォルトで停止するため、手動で再起動する必要があります。BYOD サーバを自動的に再起動するには、autostart を true に設定する必要があります。
- ステップ 3** サーバをリロードするには、[サーバの再起動 (Restart Server) ] ボタンをクリックします。

## サーバのイベントロギング

Cisco Prime Network Registrar を起動すると、システムアクティビティのロギングが開始されます。サーバは、デフォルトで次のディレクトリにすべてのログを保持します。

- Windows :
  - ローカルクラスタ : C:\NetworkRegistrar\Local\logs
  - リージョナルクラスタ : C:\NetworkRegistrar\Regional\logs
- Linux :
  - ローカルクラスタ : /var/nwreg2/local/logs
  - リージョナルクラスタ : /var/nwreg2/regional/logs

ログをモニタするには、**tail -f** コマンドを使用します。



**注意** Windows では、イベントログがいっぱいになった場合に最新システムのアプリケーション イベント ログ エントリが失われないようにするには、イベント ビューア システム アプリケーションを使用し、アプリケーションログの [ イベントログ設定 (Event Log Settings) ] で [ 必要に応じてイベントを上書きする (Overwrite Events as Needed) ] チェックボックスをオンにします。このオプションが適切に設定されていないことがインストールプロセスによって検出された場合は、修正アクションを通知する警告メッセージが表示されます。

## Windows インストールでの ACL の変更

Windows の Cisco Prime Network Registrar インストールプログラムは、インストールされたファイルとディレクトリへのアクセスを制限するために ACL を変更しようとしません。これらのファイルとディレクトリへのアクセスを制限する場合は、ネイティブの Microsoft ユーティリティ (**cacls** および **icacls**) を使用して、ファイルとディレクトリの権限を手動で変更します。

ACL を手動で変更する場合は、インストールエリア全体の内容が管理者システムグループ以外のすべてのユーザに対して読み取り専用になるように設定を制御することを推奨します。

次のファイルとサブディレクトリには、管理者システムグループのみがアクセスできるデータが含まれています。

- *install-path*\conf\cnr.conf
- *install-path*\tomcat\conf\server.xml
- *install-path*\conf\priv\
- *install-path*\data\

ACL の変更は厳密にオプションであり、Cisco Prime Network Registrar は変更を加えなくても正常に機能します。**cacls** と **icacls** のユーティリティの使用方法については、Microsoft 提供のマニュアルを参照してください。

